



森賀 まり氏プロフィール

1960 年愛媛県生まれ。1983 年、「青」入会。1991 年、波多野爽波の死去により、同誌終刊。1992 年、田中裕明とともに「水無瀬野」を創刊、2000 年、「水無瀬野」を母体に「ゆう」を創刊。この間、1994 年、「百鳥」入会、翌年、第 1 回百鳥賞受賞。田中の没後、田中裕明研究と作品を語る雑誌「静かな場所」代表。ほかに句集に「ねむる手」がある。

『瞬 ぐ』（自選15句）

森賀 まり

我を見ず茨の花を見て答ふ
秋水にオーケストラの百五人
火に近く十一月の柱かな
息白し河原の石を拾ふとき
合歓の花不在の椅子のこちら向く
瞬きに月の光のさし入りぬ
かすかなる空耳なれどあたたかし
山法師一つの朝に夜の来ぬ
朧夜のマーマレードに深く匙
家中のしんとしてゐる桜かな
自転車に乗ればひとりや桐の花
合歓咲いてかたき箱なる全句集
羅の人ひといろに集まりぬ
長き根の漂ふごとし秋簾
風鈴や庭より入る母の家